

明治期の「コレラ禍」①

今現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止と、ワクチン・特効薬の開発とが、世界的な喫緊の課題となっています。今更言うまでもなく、伝染病や感染症と、人類との闘いは、これまで幾度となく繰り返されてきました。それは世界史的なマクロな視点のみならず、日本史的にはもちろん、杉戸町域の歴史というミクロな視点でも同様です。

例えば、明治期における代表的な伝染病の一つとして、コレラを挙げる事ができます。この「コレラ禍」の波は、杉戸町域にも及んでいたようです。コレラは幕末期から幾度となく流行を繰り返していたようですが、明治十二年（一八七九）三月に四国松山から始まった大流行は、瞬く間に全国へと拡大していきました。埼玉県東部では、北葛飾郡幸手宿（現幸手市）の人が茨城県古河町の親戚の葬儀に参列した際、感染したことに端を発し、栗橋（現久喜市）や杉戸などに蔓延していったようです。同年の埼玉県内でのコレラによる死者数は、三六六名にまで及び、社会問題にまでなっていました。

その後もコレラの大流行は繰り返され、明治十九年の流行では、埼玉県内で六〇一名の

死者が出ています。

こうした状況の中、杉戸町域でもコレラに対する予防についての注意喚起が北・中葛飾郡長鈴木敏行の名でなされています。

「明治十八年十二月当時流行之虎列拉病ハ其性頗ル凶悪ナルカ故ニ若シ之ヲ本年ニ齎シ再燃セシムルカ如キアラハ、実ニ恐ルヘキノ至リナルヲ以テ、充分清潔法ヲ施行シ病毒撲滅ノ功績ヲ全タカラシムヘキ旨ヲ訓示セリ、（後略）」

その内容を具にみていくと、当時のコレラ対策が、今の新型コロナウイルス対策にも不思議と通じるものがあることがわかります。（つづく）



▲上高野村連合戸長役場文書No.72より

（社会教育課 町史・文化財担当編）

オリンピックの卵 ★ スポーツ少年団

14

スポーツ少年団事務局

社会教育課 スポーツ振興担当 内線493

杉戸体操クラブスポーツ少年団（体操）

活動日時

月・火・木・金 17時～19時
土・日 不定期

活動場所

杉戸中学校 体育館

小学生、中学生と一緒に
とても仲良く運動しています♪
見学・体験いつでも
可能です！

団の特徴（活動内容）

マット運動、跳び箱から鉄棒、平均台など様々な器械体操をしています。また、大会への出場、合宿なども行っています。

▶ 杉戸体操クラブスポーツ少年団についての問合せ

大島 齋禮 ☎090-9310-2918 ☎(33) 0732

